



しあわせ信州

令和6年（2024年）11月22日付けプレスリリースの
別添資料に誤りがありましたので訂正します

訂正版

長野県（県民文化部）プレスリリース 令和6年（2024年）11月26日

佐久穂町、野沢温泉村に所在する 2件の建造物が国の登録有形文化財に登録されます

本日、文化審議会は、下記の建造物について登録有形文化財に登録するよう文部科学大臣へ答申しました。今後の官報告示を経ると、県内の登録有形文化財は649件（建造物648件、美術工芸品1件）となる予定です。

また、佐久穂町及び野沢温泉村にとって初の国登録有形文化財となります。

ローゼ橋技術を駆使した凸レンズ形の橋梁
佐久穂町／栄橋(さかえはし)



ドングリ形の愛らしい山荘建築
野沢温泉村／野沢温泉ロッヂ(のざわおんせんろっぢ)



建造物の概要は別添資料参照

こども
まんなか

みんなでつくろう!こども・子育てに優しい信州

(問合せ先)

担当 県民文化部文化振興課文化財係 馬場、市川

電話 026-235-7441 (直通)

026-232-0111 (代表) 内線 3580

FAX 026-235-7284

E-mail bunkazai@pref.nagano.lg.jp

別添資料

所在市町村／ 名称(ふりがな)	特徴等の概略、建設年代及び登録基準＊	所在地	問合せ先
佐久穂町／ 栄橋(さかえはし)	<p>特徴 千曲川の上流部に架かる道路橋。凸レンズ形状のアーチが特徴的なローゼ橋で、両脇に片持ち梁の桁を延ばす。親柱は石張りの尖頭型で、両岸の4本が健在。日本におけるローゼ橋の建設技術を確立した長野県道路技師中島武<small>なかしまたけし</small>が設計した橋梁の一つ。支間四五メートルは、中島が手がけたローゼ橋の中で最大支間を誇る。</p> <p>建設年代 昭和 13 年 登録基準 2</p>  <p>起点より 親柱全景</p>	南佐久郡佐久穂町大字高野町字外川原～大字高野町字北岩水	佐久穂町教育委員会 文化財・芸術係 0267-86-2041
野沢温泉村／ 野沢温泉ロッヂ (のざわおんせんろっち)	<p>特徴 長坂ゲレンデ脇に建つ木造三階建スキーロッヂ。設計は吉阪隆正＋U設計室。U研究室</p> <p>外観は平面正六角形を積み上げたドーム型で、自然落雪可能な形。外壁は緑色鉄板張で随所に窓が開く。内部は中心に吹き抜けのらせん階段を配し、宿泊室は放射状に配置。独創的な構成の山荘建築。</p> <p>建設年代 昭和 44 年／平成 26 年改修 登録基準 2</p>  <p>建物内部 らせん階段</p>	下高井郡野沢温泉村大字豊郷字大ナデ7812-2 他	野沢温泉村教育委員会 生涯学習係 0269-85-3115

【＊登録有形文化財登録基準】

建築物、土木構造物及びその他の工作物（重要文化財及び文化財保護法第 182 条第 2 項に規定する指定を地方公共団体が行っているものを除く。）のうち、原則として建設後 50 年を経過し、かつ、次の各号の一に該当するもの。

- 1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- 2 造形の規範になっているもの
- 3 再現することが容易でないもの